

平成26年度 京都市立洛中小学校教育目標と教育構想

夢と希望をもち、心豊かに自ら学ぶ子の育成

めざす学校

すべての子どもが、人と関わりながら、明るく過ごせる学校

めざす子ども像

- ・夢を抱き、最後までやりぬく子
- ・人やものにやさしく接する子
- ・自ら考え行動する子
- ・心も体も元気な子

めざす教職員像

- ・子ども一人一人に目を向け、子どもとともに考え行動する教職員
- ・ていねいな授業を進める教師
- ・地域や保護者の願いの実現に向け取り組む教職員
- ・人権感覚のするどい教職員
- ・教育公務員としての立場を常に自覚し行動する教職員

経営方針と具体的な取組

- 組織として機能する教職員集団の形成
- 学びあう学習集団の育成
- 一人一人の人権の保障
- 規範意識の確立

1：確かな学力をつける

- ・一人一人の学力実態を把握した上で、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る。
- ・国語科を中心に、「読む」「根拠に基づいて考える」「考えたことを書く」「考えを発信する」などの活動をすべての教育活動に位置づける。
- ・子どもの実態に即した国語、算数プロジェクト（帯タイム）を推進する。
- ・保護者と連携し、家庭学習の定着を図る。
- ・子ども自身が意欲的に取り組もうとする洛中検定を計画的に推進する。
- ・子どもをより広く理解するため、低・中・高学年の括りの中で交換授業を行う。
- ・各種テストを分析し、実態に即した指導を積極的に行う。

2：豊かな心を育む

- ・一人一人を大切にした学級経営を通して、自尊感情を育てるとともに、お互いに認め合い高まり合う学級集団づくりを進める。
- ・約束やルールを守るなどの確かな規範意識とともに、人権学習や道徳教育の充実を図る

ことで、思いやりの心を育てる。

- ・障害のある子ども、困りを抱える子ども等、配慮を必要とする子どもについての共通理解を図るとともに、全校的な指導体制を充実させる。
- ・たてわり活動の充実を図り、共生の心・リーダーシップ・思いやりの心を育む。
- ・体験活動を通して、達成感や感動の喜びを味わわせる。
- ・地域と関わる中で、豊かな情操を育む。
- ・保・幼・小・中との連携を図る中で、キャリア教育を進める。
- ・読書環境や言語環境を整えることで、豊かな言語能力を養う。
- ・教職員人権研修の充実を図る。

3：健やかな体を培う

- ・「早寝・早起き・朝ごはん」など、食育や早起き・朝ごはんプロジェクトを通して望ましい生活習慣の形成を図る。
- ・体験活動、スポーツ・部活動などを通して、社会性や規範意識を培うとともに、体力の向上を図る。
- ・避難訓練や安全指導を通して子ども自身に自らの身を守る知識と力を育てるとともに、洛中キッズ見守り隊・交通安全協議会等の協力の下、地域ぐるみの学校安全を推進する。

取組の重点

1：確かな学力

- ・家庭学習とも関連付けながら、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る。
- ・国語科を中心に、各教科等を通して読解力を高める授業を構築する。
- ・読書活動のより一層の充実を図る。

2：豊かな心

- ・学力面や生徒指導面で気にかかる子どもの課題を明確にし、家庭との連携のもと、きめ細かな取組を進める。
- ・たてわり活動の充実を図る。
- ・明るいあいさつの励行と清掃指導の徹底を図る。

3：健やかな体

- ・望ましい生活習慣の形成に向け、各種のアンケート等を実施する。
- ・安全ノートの活用、避難訓練などを通して、安全に対する実践力を育てる。

子どもたちへの呼びかけと我々の構え

- ① 気持ちの良いあいさつをしよう。(大人が手本を示しましょう)
- ② 失敗してもよいから、いろいろなことに挑戦しよう。(大人も創意工夫しよう)
- ③ お互いの力を信じよう。(組織として取り組みましょう)
- ④ 感謝の心を大切にしよう。(笑顔を大切にしましょう)
- ⑤ 自分たちの学校を自分たちで美しくしよう。(整理整頓・掃除を心掛けましょう)